



馬宮西小だより

No.10 令和6年 2月号
1月31日 発行
住所 西区飯田新田189-2
電話 624-4041 FAX 624-2273
メールアドレス mamiyanishi@saitama-city.ed.jp

【学校教育目標】

まなぶ子・みとめあう子・やりぬく子

【みんなの合言葉】

にこにこ しっかり

先生やろうぜ！

あさだ しゅんすけ
校長 浅田 俊哉

大寒も今週末には終わりを迎えます。暦の上では、季節は春に向かう時期となります。東日本の長期予報では2月の気温は平年より高い見込みですが、日々の寒暖差が大きくなることもあるので体調を崩さないようにとのことです。

昨日、生活朝会の後に、大谷翔平選手から贈呈されたグローブを馬西っ子に披露、紹介しました。添えられた文書には、野球というスポーツこそが大谷選手に充実した人生を送る機会を与えてくれたとあり、子ども達が、このグローブを使って野球というスポーツに興味をもってもらいたい、楽しんでもらいたいとも書かれています。そして、文の最後に次のメッセージを子どもたちに伝えてもらえれば幸いですとあり、「野球やろうぜ」という言葉で締めくくっています。大谷選手の気持ちが子ども達に伝わるように話を添えて、グローブをお披露目しました。その後、それぞれの教室で回覧した後、休み時間等に貸し出しを始める予定です。懇談会の全体会などで保護者の方にもお披露目し、実際に触れていただける機会も設けたいと思いますのでお楽しみにしていただければと思います。もちろん、地域の方々にも、学校にお寄りいただければご紹介できます。ただ今のところ、校外への貸し出しは、寄贈の趣旨も踏まえ考えておりませんので悪しからず。馬西っ子に学校でいっぱい使ってもらいたいと思います。

実際のところ、子どもの人口は減少にあり、そんな中、少年野球人口も減少傾向にあります。9人のチームが組めない少年団もあると聞きます。大谷選手ばかりではなく、野球というスポーツの素晴らしさを知る他の野球選手をはじめとする人々も、野球人口の減少をきっと悲しい思いで受け止め、何かできることはないか、野球というスポーツに恩返しできることはないかと思いを馳せていることでしょう。そんな中、世界の野球界をけん引する大谷選手が取った行動は、絶賛に値するものだと思います。

さて、小学校教員の採用倍率は年々減少をたどり、今年度は過去最低を記録しました。小学校の先生を将来の職業として希望する人が減ってきています。これは、どうかしないといけないと現役の我々も思いを強くするところです。またも自分事ですが、私は恩師や友達に恵まれ、とても楽しい小学校生活を送ることができました。教師を志した理由の一つに、そんな恩師や友達たちが集う学び舎、小学校に恩返しをしたい、私がそうであったように、子どもたちが楽しく過ごせる学級の先生になりたいという思いが確かにありました。それは、「楽しくなければ学校じゃない」をモットーに子ども達に接していた担任時代から現在まで変わっていません。今は直接子ども達を指導する立場でありませんが、子ども達に胸を張って「先生やろうぜ！」と言える教師を育てていくのが今の私の役割なのだと強く感じています。

寒さも厳しい日、穏やかな日ありますが、馬西っ子は元気に学校生活を過ごしています。この調子で今年度を最後まで送れるよう、職員一同、指導、支援に努めてまいります。ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

